



心やすらぎ 未来へはばたく
笑顔のまち 大田区

発行：大田区 編集：広聴広報課
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14
☎ 5744-1111(代) FAX 5744-1503
HP <https://www.city.ota.tokyo.jp>
LINE @otacity
X @city_ota



アバターイン
avatarin(株)
代表取締役CEO
ふか ぼり あきら
深堀 昂さん

“世界最大の
人助けネットワーク”
の構築をめざして



●アバター技術とAIロボティクス技術を備えた コミュニケーションAIロボット「newme」

newmeを遠隔地から操作し、好きな時間に好きな場所で働くことができます。そこからAI学習を行い、近い将来は自律的に働くことで、人とAIが共存できる新しい接客ソリューションの提供をめざしています。

●HICityでのテストを生かした 実証実験(@区役所本庁舎)では2,600件の声

人が多く、通信が混雑する場所での稼働について、HICityでテストを繰り返し、技術開発を行ってきました。この検証が区役所本庁舎での実証実験につながりました。機械的にさばくのではなく、対面のお客さまを離れた場所からでも、ぬくもりがあるサービスとしてご案内できたことが新しい経験でした。

●newmeの名前の由来は“新しい私”

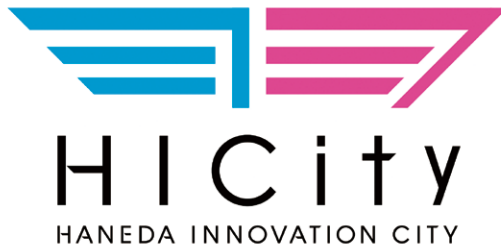
例えば、ある時間はそのロボットに入って案内業務を行い、またある時間は違うロボットに入って多言語のサービスをするなど、シェアリングの考え方を入れたのが特徴です。日本人が当たり前に行えるような「心配り」をいち早くロボットを介した業務から学び、世界中に提供していきたいです。



▲newmeのスピーカーホルダー
区内企業との連携により開発。全国各地のnewmeに取り付けられ活躍しています！



温かみのある接客で案内してもらえた
素早く解決してもらえた



羽田から始まる 課題解決への挑戦。 未来のQOL向上へ

クオリティ・オブ・ライフ

区と羽田みらい開発(株)が公民連携でまちづくりを進めている「羽田イノベーションシティ(HICity)」では、地域の課題解決に向けたさまざまな技術の実証実験が行われています。

※QOL: Quality of Life. 自分でこれだ！と納得できる生活の質

“わくわく”を感じる
自動運転バスの技術
電気を動力源としているため、
環境にもやさしい！



ボードリー
BOLDLY(株)
代表取締役社長兼CEO
さじ ゆうき
佐治 友基さん

●半径120mを検知する自動運転バス

1～2月に天空橋駅と萩中公園を結ぶ市街地を走行するルートにて実証実験を行った自動運転バスでは、運転手はいますがハンドルは握りません。乗車されている方の乗り心地を考慮して補助する場合がありますが、半径120mの人や自転車や車などを検知して自動で走行しています。

●7万人以上が乗車したHICityから、区内市街地への展開

HICity内で2020年から走行している自動運転バスは、現在までに総乗車数は7万人以上。日本で1番乗車数が多い現場になりました。技術的な部分はもちろん、親子や羽田空港から来られる海外のお客さまがいっぱいなど、社会的にもかなり意義のある実証実験でした。

●横に動くエレベーターをめざして

まちにもっと身近な移動手段を増やす必要性を自身の経験から感じています。会いたい人に一刻も早く会いたいときに、移動手段がないことが原因で会える時間が減ったら悔しいです。今の路線網に自動運転バスも増やして、より網目を細かく、いつでもどこでも当たり前エレベーターを利用できるのと同じように身近な移動手段になることをめざしています。



▲半径120mを検知したものを表すモニター

これからも頑張ってください！
未来的で魅力的に感じる！

2030年、大田区がめざす
未来のかたち

羽田から未来へはばたく おおたSDGs未来都市の実現
～新産業と匠の技が融合するイノベーションモデル都市～

